

■研究推進委員会 2022 年度 活動報告書

提出日:2023 年 3 月 31 日

名 称	公益社団法人日本造園学会風景計画研究推進委員会
委員長	氏名 (所属) : 伊藤弘 ((筑波大学芸術系世界遺産専攻)
幹 事	氏名 (所属) : 町田怜子 (東京農業大学地域創成科学科地域環境科学部) 連絡先 (e-mail アドレス) : r3machid@nodai.ac.jp
その他 構成員	伊藤 弘 筑波大学芸術系世界遺産専攻 町田 怜子 東京農業大学地域環境科学部 入江 彰昭 東京農業大学地域環境科学部 上田 裕文 北海道大学メディア・コミュニケーション研究院 上原 三知 信州大学学術研究院農学系 小島 周作 株式会社メッツ研究所 小林 昭裕 専修大学経済学部 高瀬 唯 茨城大学農学部 高山 範理 (国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所 武田 重昭 大阪公立大学大学院農学研究科 田中 伸彦 東海大学観光学部 寺田 徹 東京大学大学院新領域創成科学研究科 温井 亨 東北公益文科大学 橋本 慧 株式会社プレック研究所 古谷 勝則 千葉大学大学院園芸学研究院 松井 孝子 株式会社プレック研究所 松島 肇 北海道大学大学院農学研究院 水内 佑輔 東京大学大学院農学生命科学研究科 村上 修一 滋賀県立大学環境科学部 矢澤優理子 東京大学空間情報科学研究センター 山本 清龍 東京大学大学院農学生命科学研究科 渡邊 貴史 長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科 渡部 陽介 清水建設技術研究所
今年度 活動報告 成果	1. 2023 年度日本造園学会全国大会ミニフォーラム開催 2022 年度全国大会企画フォーラム「生活と風景 実践から読み解く風景計画の理論」では、2022 年度の風景計画研究推進委員会のミニフォーラムでは、風景計画の概念、理論、計画論を、風景計画や風景づくりの実践例から風景計画の理論、読み解きを再考した。4つの事例報告から風景計画をめぐる法整備から情報でつなぐ文化、地域、さらに実像の景観研究の解釈等、参加者らと活発な研究議論がされた。 【フォーラム内容】 趣旨説明： (風景計画推進委員会委員長 筑波大学 伊藤弘 伊藤 弘) 話題提供 1 : 「国立公園の風景のストーリー化と公園計画へのフィードバック」 岡野隆宏 (環境省自然環境局) 話題提供 2 : 「修験道の山の風景計画ー出羽三山の事例ー」 上田裕文 (北海道大学) 話題提供 3 : 「風景認識モデルにおける「情報」に着眼した風景評価の実践」 高瀬唯 (茨城大学)

「総合討論」

2. 「風景計画研究」 発刊

「風景計画研究」 第 7 号を 2023 年 3 月に発行した。